

学校図書館支援センター通信 149号



令和2年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

第七中学校 学校図書館活用

社会科 世界の諸地域「地域的特色」の影響を受けた「地球的課題」の現れ方を探る

11月24日（火）、市川市立第七中学校にて、学校図書館を活用した社会科の授業が行われました。今回の単元は、第1学年 地理的分野の「世界の諸地域」です。授業者の岡本 玲央先生は、普段より学校図書館の機能を活かした授業づくりを実践されている先生です。今回は、来年度から中学校でも本格実施される新学習指導要領を見据え、「SDGs（持続可能な開発目標）」をテーマに「自らの関心に基いた探究学習」に挑戦しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、授業時間数の確保が課題となっています。限られた授業時間数の中で、基礎・基本の知識の定着を図りながら、探究学習を行っていました。



今回取り上げる地域は、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの6州です。まずは、この6州についての知識を広げそれぞれの州の地域的特色を学びました。そして、地域的特色と「SDGsで掲げている17のゴールで解決すべき課題」とを結びつけて考え、地域的特色が「地球的課題」にどのような影響を及ぼしているのかについて、一人一人が考えました。生徒たちは、「アフリカ州における平和・公正は、ヨーロッパとの交流の影響を受けているだろう」「オセアニア州における経済成長は、観光業の影響を受けているだろう」「南アフリカ州における気候変動は、地球温暖化の影響を受けているだろう」など、一人一人が仮説を立て、仮説に対しての検証を行うために、図書資料、インターネットを活用して必要な情報を集めました。集めた情報をもとに仮説に対する考え（考察）をまとめ、発表しました。発表を聞いていると、SDGsから「貧困・飢餓」等同じ課題を選択しても、「病気・感染症」「モノカルチャー経済と紛争」など原因の分析は、一人一人異なっていました。今回の学習を通して、世界で起きている問題への視野が広がり、地域的特色について理解を深めることができました。

学校図書館活用授業時間数調査(前期)の報告

今年度前期（6月～9月分）の学校図書館活用授業時間数調査の結果をお知らせします。小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の合計が、11,078時間でした。今年度は、5月まで休校が続く、本格的に学校が再開したのは7月でした。そのため、今回の結果は、約3か月間の活用授業時間数となります。大幅な減少もなく、コロナ禍においても工夫しながら、学校図書館を活用していたことがわかりました。今年度も全教科での活用があり、国語科、社会科、理科・生活科、総合的な学習の時間の活用授業時間数が多い傾向も、例年と同様です。このような結果となったのも、どの単元で活用ができるのか先生方がよく理解され、日々の実践を積み重ねている成果であると感じました。

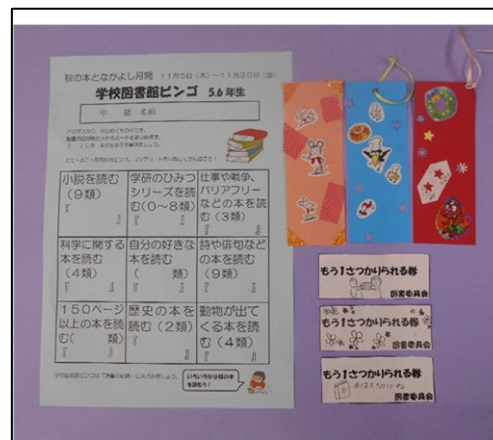
また、図書貸借システム（ネットワーク便）の利用も順調に行われており、9月30日（水）までに10,623冊の相互貸借がありました。休校期間を考えると大幅な減少もなく活用されています。

教科等	活用授業時間数	
	令和元年度	令和2年度
国語	12,113	7,203
社会	1,522	686
算数・数学	9	3
理科・生活	1,294	628
音楽	62	2
図工・美術	1,061	397
保健体育	89	3
技術家庭	212	46
外国語	192	138
総合	4,566	1,530
道徳	57	41
特別活動	287	135
その他	174	266
合計	21,638	11,078

今回は、南行徳小学校と宮田小学校の2校の取組をご紹介します！



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



南行徳小学校では毎年11月に「秋の本となかよし月間」と題して、読書月間を開催しています。今年は『密』にならずに本の世界を楽しむイベントとして、図書委員の考えた「図書クイズ」や「読書ビンゴ」、給食委員の選んだ「お話給食」を計画中です。クイズはその場で答えがわかる形式にし、ビンゴの達成者には後日「しおり」か「もう1冊借りられる券」の好きなほうをプレゼントする予定です。しおりは雑誌の付録や不要となった本のカバーを再利用しました。

今年度は図書委員の活動時間を取るのが難しいですが、休みを利用して少しずつ準備を進めています。この機会に読書や新しい知識を得る楽しさに触れてほしいと思います。

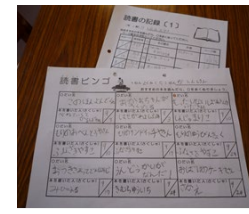
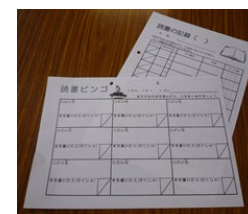
【市川市立南行徳小学校 学校司書 深野 邦子】

昨年度着任当初から、「読んだら書く」ことが児童にとって大切な読書の記録や思い出になると考えていましたので、1～4年生は「読書ビンゴ」、5,6年生は「読書の記録」の用紙を作り、1枚達成したら「読書の花を咲かせよう」と、学年ごとに色の違う花を掲示板に飾ることにしました。この掲示板は、『花さき山』をモチーフにしています。

2年目を迎えた今年も、主人公のあやが見守る学校図書館で、読書の花をひとつでも多く咲かせようと、どんどんビンゴを達成する子が増えています。5,6年生は、ページ数を記録する欄も加え、更に詳しく読書傾向がわかるようにしました。

この活動を通し、1冊でも多くの本が子どもたちの友だちになることを願っています。

【市川市立宮田小学校 学校司書 石田 美代子】



第2回学校司書合同研修会より 今年度の行事＆委員会活動紹介

12月までに行った行事など

- おすすめの本紹介
- 読書郵便（校内、中学校ブロック）
- しおりコンテスト○辞書引き大会
- スタンプラリー ○読書ビンゴ
- 分類ビンゴ ○作家になろう
- 秋のクイズまつり○家読（うちどく）
- SDGsブックトーク（高学年対象）
- 図書館キャラクターコンテストなど

12月までに行った委員会活動

- 給食とのコラボ（給食時の放送、お話給食）
- 「おすすめの本」の掲示
- 読書クイズ（朝の放送）
- 動画を活用した読み聞かせ（図書委員会から全校へ、中学校から小学校へ、中学校から保育園へ）
- テーマ別本の紹介○本の福袋など

1月以降に行う予定の取組

- 「本を正しい場所に戻そう」キャンペーン
- ポップコンテスト
- 卒業生へのプレゼント作り
- [先生のおすすめの本の冊子、しおり作成]
- 高学年が楽しめる謎解き問題
- 6年生図書委員による「今までのベスト1 図書」

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

